

峰のひかり

発行人
社会福祉法人 **七峰会**
理事長 **大平 和夫**

〒036-8356
青森県弘前市大字下白銀町21番地8
電話 (0172) 33-8861
FAX (0172) 33-8862

お子さんたちとともに

山郷館児童デイサービスセンター ど・れ・み

児童発達支援管理責任者 小田桐直子

『山郷館児童デイサービスセンター』では、夏休みを利用し、地域交流や社会体験の一環として、弘前消防署西分署へ社会見学に行きました。

救急車の搭乗体験では、車内にあるたくさんの装備品を興味深そうに見て、消防車の放水体験では、防火服に身を包んだ消防士と一緒にホース

児童発達支援センター花りんご

主任 児童発達支援管理責任者 西村 五月

『児童発達支援センター花りんご』では、お子さんの健全な発達に向け、個別学習や集団活動の療育支援を行っています。中でも今年から取り入れた『リトミック』は、音楽に合わせてながら体を動かして、楽しんで参加できる活動となっています。

また、児童発達支援では、社会体験の場として毎月外出を行っています。先日、食育の一環として、田んぼア

を持ち、大きな弧を描いて放水しました。
今後も子どもたちの「見てみたい」「やってみたい」を大切にして参ります。



ト見学後、稲からお米がとれることを学び、おにぎり作りをしました。皆さん喜んで食べていました。
お子さんの小さな『できた!』を大切に、達成感を感じながら心身に成長していけるよう応援していきます。



拓光園放課後等デイサービスセンターぱすてる

児童発達支援管理責任者

佐々木直通

『拓光園放課後等デイサービスセンター』は『ぱすてる』では、昨年度から『弘前大学大学院医学研究科附属子どもこころの発達研究センター』に業務委託し、「保護者の子育てについての悩み解消」

を目的とし、臨床心理士による面談を実施しています。これまでに3回実施しており、保護者の皆さまからご好評をいただいています。今後につきましても保護者の皆さまからの要望に応じて開催していきたいと考えています。

児童発達支援センターはあと

保育士 福井三千代

おくことで、子育てをより楽しいものにしていくことが目的となっています。

『児童発達支援センター』はあと』ではお子さんの気になる行動やその対応に困っている保護者の方を対象とした子育て講座としてペアラント・プログラムを実施しています。その子にあった子育てをサポートするために、保護者の方が自分のお子さんの『うまくいく行動のコツ』を学んで

保護者同士の仲間作りやリフレッシュの場にもなっており、保護者の皆様が、子育てを楽しいと思える、また、少し辛いなど感じた時に、相談できる場として取り組んでいきます。



秋の里・お祭り広場



障害者支援施設 山郷館くろいし

生活支援員（実行委員長）

田沢 瞳

平成18年9月に黒石市に根を下ろしてから12回目を迎えた『秋の里・お祭り広場』を9月1日(土)に開催しました。

毎年、祭りに花を添えていただいているのが『黒石市立東小学校吹奏楽部』明るく元気な「太陽の子供たち」であり、今回も会場いっぱい広がる力強い演奏をたつぷりと楽しませていただきました。

『黒石市立東小学校』の佐々木一校長先生からも「子供たちが発表できることが喜びであり、演奏を通して皆さんが喜んでいることを肌で感じるかけがえのない機会になっている。」というお言葉と、子供たちからも「ウキウキ楽しく演奏できました。みんな張り切って練習してきました。」「皆さんに喜んでもらえたことがうれしかった。」という感想もいただき、共に喜びを共有できたことを嬉しく思います。

『秋の里・お祭り広場』を開催するにあたり八甲、角田町会を中心とした地域の皆様がアトラクションや出店で盛り上げていただき、回を重ねるごとに規模も大きくなっていきます。



ねることに規模も大きくなっていきます。

祭りを終えた後も「来年はもっと盛り上げるために準備するから。」「来年もまた、来るよ。」と、ありがたい言葉をたくさん頂戴しました。

これからも地域の皆さんと歩む『秋の里・お祭り広場』を交流の場として大切にしていきたいと思えます。

あらためてお越しいただいた皆様方と、ご尽力いただいた地域の皆様方に感謝し申し上げます。

祝・敬老会

～まだまだ若いんれからた

特別養護老人ホームサンアップルホーム

主任生活相談員

村田眞希子

9月17日(月)、サンアップルホーム敬老会を開催しました。

この敬老会は、ホームで暮らす利用者さんに対して、長年の功績と労を労うことを目的とした大切な行事です。この日はご家族・ご来賓そして職員一同出席し、ご長寿を祝いました。

今年の最高齢は99歳の女性の方で、お祝いの言葉を伝えると、「歳で一番をとつてもなあ。」と照れ笑いされていました。

式典では、津軽三味線『多田あつしと夢弦会』の木村瑞紀様が素晴らしい演奏で式典に花を添えてくださいました。

弥生地区

七峰会施設防災協力会

障害者支援施設拓光園

主任心得

生活支援員

櫻庭

洋規

開設当時より、弥生地区にある法人の各施設で防災への備えとして

の設備を整えていきましたが、有事の際、近隣（地域の）皆様との協力が重要と考え、昭和63年より、弥生町会、上弥生町会、杉山町会の協力を得て、総合訓練を行っています。

当施設からは、利用者さんお一人ずつに長寿のお祝いとして、お茶碗とお椀のセットを贈呈しました。自宅で生活していた頃のように、ご自分のお茶碗とお椀で、温もりのある食事をいつまでも楽しんで頂きたいという願いを込めてお贈りしました。式典終了後には、利用者さん・ご家族が一堂に会して会食会を開き、お祝い料理を楽しみました。

来年も利用者の皆さんが元気に敬老会に出席できるよう、健康管理と体力維持・増進に努めて参ります。



実際の火災、その他災害時には、施設職員だけでは、対応が十分でないことが想定され、日頃から連携を密にし、緊急時の応援、協体制を確保しています。

今年の総合避難訓練は拓光園で行われ、避難の手順や連携の確認を行いました。職員、地域の方々も熱心に取り組んでおられ災害に対する備えとしての心強さを感じました。日頃からのご協力に感謝申し上げます。

事業所紹介

弘前市障害者生活支援センター

弘前市障害者生活支援センター 所長 外崎 理香
『弘前市障害者生活支援センター』は弘前駅や百円バスの停留所にも近い土手町にあります。弘前市の委託事業で、福祉サービスの利用援助や情報提供、社会資源活用や交流機会の支援等を行なうことで在宅の障がいをお持ちの方の地域生活を応援する事業所です。

相談窓口で、電話、メール、来所、訪問等それぞれに合わせた方法でお手伝いをしています。相談支援の他に、仲間づくりや交流を深める場として気軽に参加できるイベント、障がいをお持ちの方が同じ当事者の立場で悩みやお気持ちを聞いてくれる相談会、小学校へ障がいをお持ちの方を講師として派遣する障がい理解のための活動等も行っていきます。いつでもなんでも相談できる身近な存在として、今後も一人ひとりに寄り添う支援をしてまいります。

シリーズ「かだる」 経験を活かして

障害者支援施設旭光園

生活支援員 高木 航太

私は七峰会勤務18年目であり、今年4月から『旭光園グループ』で勤務しております。

『旭光園グループ』の利用者さんは主に生産活動を行なっています。中でも、生産活動が難しい利用者さんへの支援課題としてあげられたのが日中活動の充実でした。今年度生活介護の支援プログラムのひとつで畑づくり、花壇の製作を行いました。前施設での経験を活かしながら、花壇の大きさに合った花のレイアウトや必要物品の準備、購入を先輩職員と一緒に計画し製作しました。大

した出来栄ではなかったと思いますが、花の手入れや草取りなど利用者さんと一緒に日中活動として行なっています。

花壇の製作については、これまでの経験があつたため日中活動として滞りなく取り組めたと思っております。また、自宅のプランターでもテーマを決めて寄せ植えをしており、趣味の一つとなっております。様々な経験がいつか役立つと信じれば無駄な経験などはなく、楽しんで取り組むことができますし支援に活かせると思います。これからもチャレンジを心がけて経験を積んでいきたいと思っております。



減塩×ニュー紹介

障害者支援施設旭光園 管理栄養士 館山 郁子

七色納豆丼



515kcal 塩分 1.8g

- 調味料のだし、甘さ、辛さを活かして減塩
朝食に最適
丼1つで栄養満点
タンパク質 20g、鉄 2.5g
カルシウム 200mgをしっかり摂れます

材料(4人分)

Table with ingredients and quantities for 4 people: 小粒納豆 200g (4P), ジャガイモ 80g, 人参 40g, いんげん 40g, きゅうり 80g, チーズ 100g, 青じそ 10枚, 菊 40g, 刻みのり 少々, 醤油 小2と1/2, オイスターソース 小2と1/2, テンメンジャン 小2/3, トウバンジャン 小2/3, 酢 小2/3, すりごま 大2/3, ご飯 1人 200g

作り方

- 1 Aの材料は全て5mm角の細目切りにする
ジャガイモ、人参、いんげん、菊はゆでる
2 青じそは千切り
3 Bの調味料を合わせる
4 納豆、1、3を混ぜ合わせる
5 ご飯の上に青じそを散らし4をのせ、刻みのり、菊を飾れば出来上がり

お山参詣への参加

法人本部事務局次長 東谷 康生

社会福祉法人には、基盤となる社会福祉事業に加えて地域へ貢献する取り組みが求められており、当法人の新たな地域貢献として重要無形民俗文化財である『お山参詣』へ参加することになりました。

初の取り組みであることから、今年度は『相馬有志会』の皆さまにご協力いただき、連日の準備作業に延100名を超える法人職員が加わらせていただきました。

そして平成30年9月9日(日)、宵山(よいやま)当日、『相馬有志会』の一員として約50名の法人職員が団体参拝へ参加させていただきました。出発時の大粒の雨が、岩木山神社に近づくときあがり、清らかな心のもと参拝をさせていただきました。

準備段階より、丁寧にご指導いただきました『相馬有志会』の皆さまに心より感謝申し上げます。



